

「令和3年版出題基準」は、ここが変わった！

* 2021年4月16日に、「令和3年版出題基準」が公表されました。第4回心理師試験（2021年9月19日実施予定）は、この「令和3年版出題基準」に基づき、出題されます。

* 令和3年版では、特に「**⑩福祉に関する心理学**」において大きな変更があり、児童虐待、高齢者の心理、認知症、関係者に対する心理支援などのキーワードが大幅に追加されました。いずれも現在、大きな社会問題として注目されているテーマばかりです。

* 変更点に関しては、次回試験で出題される可能性が非常に高いと考えられます。今から重点的に学習して、十分な準備をしておきましょう！

Pick up!

新たに追加された主なキーワード

- ① 公認心理師としての職責の自覚
 - ・ 虐待への対応
- ② 問題解決能力と生涯学習
 - ・ 心理職のコンピテンシー
- ③ 多職種連携・地域連携
 - ・ アドバンス・ケア・プランニング (ACP)
- ⑨ 感情及び人格
 - ・ 状況、認知、感情、行動
- ⑫ 発達
 - ・ 乳児に対する実験法（選好注視法、馴化・脱馴化法、期待違反法）
 - ・ 向社会性、非社会性、反社会性
- ⑬ 障害者（児）の心理学
 - ・ 障害者（児）の基本的権利
- ⑭ 心理状態の観察及び結果の分析
 - ・ アセスメント結果のフィードバック

⑰福祉に関する心理学

・福祉の基本理念

- ・軽度認知障害 [mild cognitive impairment (MCI)]
- ・高齢者の心理 (認知の予備力 (cognitive reserve)、エイジング・パラドックス (aging paradox)、高齢者の意思決定と詐欺被害、「こころ」の加齢モデル)
- ・アドバンス・ケア・プランニング (ACP)、人生会議
- ・生活の中の治療、被虐待児への心理療法
- ・認知症の行動・心理症状 [behavioral and psychological symptoms of dementia (BPSD)]
- ・高齢者に関する心理検査 (改訂長谷川式簡易知能評価スケール (HDS-R)、精神状態短時間検査 - 改訂日本版 (MMSE-J)、clinical dementia rating (CDR))
- ・認知症の人に対する心理支援 (回想法・ライフレビュー、応用行動分析的アプローチ、認知リハビリテーション、認知機能の活性化、診断前後の支援、認知症の予防と共生)
- ・関係者に対する心理支援 (家族介護者・介護職への支援、養護者・養介護施設従事者等への支援)

⑱教育に関する心理学

- ・アクティブラーニング
- ・特別支援教育
- ・学校危機支援
- ・教育関係者へのコラボレーション

⑲司法・犯罪に関する心理学

- ・犯罪予防、再犯予防
- ・犯罪捜査場面における心理学
- ・反抗挑発症、素行症

⑳産業・組織に関する心理学

- ・キャリア形成、キャリア支援
- ・働き方改革
- ・ストレスチェック制度

⑳公認心理師に関する制度

- 診療録、保険診療制度
- 成年後見制度の利用の促進に関する法律
- 更生保護制度
- 刑事施設
- 職場におけるハラスメント防止対策、労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律〈労働施策総合推進法〉 など

今回の改訂で、「令和3年版出題基準」の「はじめに」に公認心理師法第2条の第1号から第4号までが新たに引用されました。公認心理師の業務を定めた、基本中の基本の部分です。改めて確認しておきましょう。

- 1 心理に関する支援を要する者の心理状態を**観察**し、その結果を**分析**すること。
- 2 心理に関する支援を要する者に対し、その心理に関する**相談**に応じ、**助言、指導**その他の**援助**を行うこと。
- 3 心理に関する支援を要する者の**関係者**に対し、その相談に応じ、助言、指導その他の援助を行うこと。
- 4 **心の健康**に関する知識の普及を図るための**教育**及び**情報**の提供を行うこと。

削除された主な小項目

- ⑤心理学における研究
 - 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針
- ⑫発達
 - Asperger 症候群
- ⑱教育に関する心理学
 - 学習障害〈LD〉 など